

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2001-214893(P2001-214893A)

【公開日】平成13年8月10日(2001.8.10)

【出願番号】特願2000-386193(P2000-386193)

【国際特許分類】

F 04 D 29/38 (2006.01)

F 01 D 5/14 (2006.01)

【F I】

F 04 D 29/38 A

F 01 D 5/14

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月19日(2007.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】翼根元(20)から翼先端(22)までの横断面に沿ったスパンで、および、前縁及び後縁(26、28)間の断面翼弦で延びる正圧及び負圧側面(16、18)を含み、

前記翼弦は、前記翼根元から外方よりにその長さが増大し、前記翼根元から前記エーロフォイルをバレル状に膨出させ；また、

前記エーロフォイルは前記翼先端において空力的前方湾曲を、また前記先端部から内側寄りにいおて空力的後方湾曲を含み、

前記翼弦は、前記翼根元(20)から翼弦長さが増大し前記エーロフォイルから外側にバレル状に膨出することを特徴とするエーロフォイル。

【請求項2】前記翼先端の前方湾曲が、前記後縁(28)において形成されることを特徴とする請求項1に記載のエーロフォイル。

【請求項3】前記翼先端の前方湾曲が、前記前縁(26)において形成されることを特徴とする請求項2に記載のエーロフォイル。

【請求項4】前記断面翼弦は前記翼根元(20)及び前記翼先端(22)間でねじり角度が変化し、前記バレルが、前記側面(18、20)の軸方向の突出で前記前縁及び後縁(26、28)間の最大拡大部を持つことを特徴とする請求項3に記載のエーロフォイル。

【請求項5】前記バレルにおける前記前縁(26)が前記翼根元(20)から軸方向前方に拡大し、前記バレルの前記後縁(28)が前記翼根元から軸方向後方に拡大することを特徴とする請求項4に記載のエーロフォイル。

【請求項6】前記翼先端の前方湾曲が、前記前縁及び後縁(26、28)の両方において形成されることを特徴とする請求項1に記載のエーロフォイル。

【請求項7】前記バレルの前記前縁(26)が前記翼根元(20)から軸方向前方に拡大し、さらに、前記バレルの前記後縁(28)が前記翼根元の軸方向後方に拡大することを特徴とする請求項1に記載のエーロフォイル。

【請求項8】前記後縁(28)における前記前方湾曲が、前記前縁(26)における前記前方湾曲より大きいことを特徴とする請求項6に記載のエーロフォイル。

【請求項9】前記後縁(28)における前記前方湾曲が前記翼先端(22)から前記翼

根元(22)にかけ減少することを特徴とする請求項7に記載のエーロフォイル。